

食事内容を確認し吸収低下を回避

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は服薬指導時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

- ▶ 特発性血小板減少性紫斑病
- ▶ レボレード®（エルトロンボパグオラミン）投与開始

Aさん



患者Aさん



今日からはじまったレボレード®（エルトロンボパグオラミン）ですが、血小板を増やしてくれる働きがあります。今日はお薬を何時に飲まれましたか？

今日は10時に飲みました。食事から2時間は空けないとだめなんですよ？

そうです、食事と同時に服用すると期待する効果が得られない場合があります。他にも注意点があって、乳製品や薬によっては前後4時間あけないといけません。酸化マグネシウムも該当しますが、毎日飲んでいますか？

乳製品も気をつけないといかんのですね、朝ごはんの牛乳はやめといた方がいいですね。酸化マグネシウムは便の薬ですよ、今は夕方にだけ飲んでるから大丈夫か！

看護師



看護師へ相談

Aさんに追加になったレボレード®（エルトロンボパグオラミン）ですが、乳製品と前後4時間空けないといけません。朝食を牛乳なしにすることはできます

朝食につけてもらうものを乳製品じゃないものに変えてもらえるか栄養部に相談してみます。

看護師へ情報提供

酸化マグネシウムとの併用も前後4時間空けないといけません。今は夕のみ飲まれているようですが、追加で内服希望された際は、注意してください。

血小板の数値は改善して、退院できることになりました

服薬指導時に食事内容を聴取することで吸収低下を防ぐことができ、適切な薬物療法に貢献できた。

薬剤師が服薬指導に訪室

